

# 教頭会会報

宮崎県公立小中学校教頭会

第147号 2024

令和6年7月30日発行



## 〈 表 紙 〉

### 【写真左上】 延岡支会「家田湿原」

家田湿原は延岡市北川町の家田地区に広がる湿地で、東九州自動車道北川 IC(道の駅北川はゆま)から車で数分の距離に位置しています。ラムサール条約湿地潜在候補地(H22環境省)、宮崎県の重要生息地(H20)、日本の重要湿地500(H13環境省)に指定され、絶滅危惧種の動植物が50種以上生息する学術的にも極めて価値の高い湿地です。

### 【写真左下】 西臼杵支会「国見ヶ丘」

国見ヶ丘は、標高513m、雲海の名所として有名です。雲海の見頃は秋の早朝で、快晴無風の冷え込んだ日に見られます。

霧が高千穂盆地や、とりまく山々を覆い隠し、まるで墨絵のような世界を演出します。また民謡「正調刈干切唄」の発祥地でもあり、阿蘇の五岳や祖母連山など、大パノラマが楽しめます。

### 【写真右】 東臼杵支会「塚原ダム」

諸塚村にある1938年に完成したダム。諸塚中学校の校歌には「緑の森は深くして えん堤の水満々とたたゆるほより電源の文化はおこる野に山に」という歌詞がある。諸塚村の歴史は、林業と電源開発に大きな関わりがあることがうかがえる一節である。

### 【写真右】 日向支会「美々津小学校」

「神武天皇お船出の地、美々津小の敷地に建つ100周年記念碑”おきよ”。朝日輝く一日のはじまり。今年で美々津小創立150周年」

# あ い さ つ

宮崎県公立小・中学校教頭会

会長 米澤 雄志郎

令和6年度宮崎県公立小・中学校教頭会会長をさせていただきます宮崎市立赤江小学校の米澤雄志郎と申します。微力ではありますが、県内の教頭先生方の御理解と御協力をいただきながら、本会の発展のために尽力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

新年度が始まり、各学校の副校長・教頭先生におかれましては、学校の中心的なリーダーとして学校運営に奔走され、様々な業務に追われ、多忙な日々を過ごされているのではないのでしょうか。また、今年度新たに副校長・教頭職に昇任された教頭先生方、異動のあった教頭先生方におかれましては、職場の雰囲気慣れるのにととも気を遣われたことと拝察いたします。

さて、学校においては、昨年度5月に新型コロナウイルス感染症は5類となり、コロナ禍以前の生活が戻り、それに伴って、児童生徒の学校生活につきましても制限されていた集会や学校行事、さらには、学習内容にも取り組むことができるようになっていきます。教育現場においてなされる活動は「オールペター」であるため、見直していくことは難しい点もあるのですが、scrap-and-buildによって、より教育効果のある活動にシフトしたり、教職員や児童生徒の負担軽減なども考慮しながらより持続可能な活動に取り組まれていたりしているのではないかと思います。

また、私たち教頭の職務に目を向けると、様々な点で、学校教育が大きく変わりつつあることや働き方改革が年々進む状況において、教頭の職務も不易と流行を意識しながらも、学校教育の目標の達成を目指して、取り組む必要があると考えております。全国教頭会では、第13期全国統一研究主題として「未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくり」が提案されています。『「未来を切り拓く力」とは、よりよい社会や幸せな人生を積極的に築き上げていくために、自らの個性を発揮し、自信をもって未来を切り拓く力であり、様々な困難な課題に、考え、判断し、積極的に対応する力である。また、「魅力ある学校づくり」とは、子どもたちが安心して教育を受け、自らの力を発揮できることはもちろん、保護者や地域住民にも信頼され「魅力ある、地域とともにある学校づくり」に、副校長・教頭として取り組むべき課題である。さらに、学校における働き方改革の具現化を図り、教師にとっても「魅力ある学校」となるよう努めていかなければならないと考える』としています。宮崎県内の11の各支会において、本主題のもと、多くの教頭先生方の英知を結集し、研究を進めていただいているところかと存じます。本年度8月22日、8月23日には「第64回九州地区公立学校教頭会研究大会」「第62回宮崎県公立小中学校教頭会研究大会」宮崎大会が本県で開催されます。昨年度からの準備・計画に基づき、実行委員会を中心に、県内の各支会の副校長・教頭先生方の力をお借りしながら、九州大会宮崎大会では、本県の副校長・教頭先生方の日々の取組を提案し、九州各県の副校長・教頭先生方と協議を行うことによって、教頭業務の充実、引いては学校教育の充実につながることを期待しています。

最後になりましたが、日頃から本会を支えていただいております宮崎県教育委員会及び宮崎県市町村教育委員会連合会、宮崎県校長会をはじめ、教育関係諸機関・諸団体の皆様に心から感謝申し上げますとともに、今後共、御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

# 支会だより

## 延岡支会

### 1 構成

本支会は、延岡市内の小・中・義務教育学校42校（小学校26、中学校15、義務教育学校1）の教頭で構成されている。

### 2 支会役員

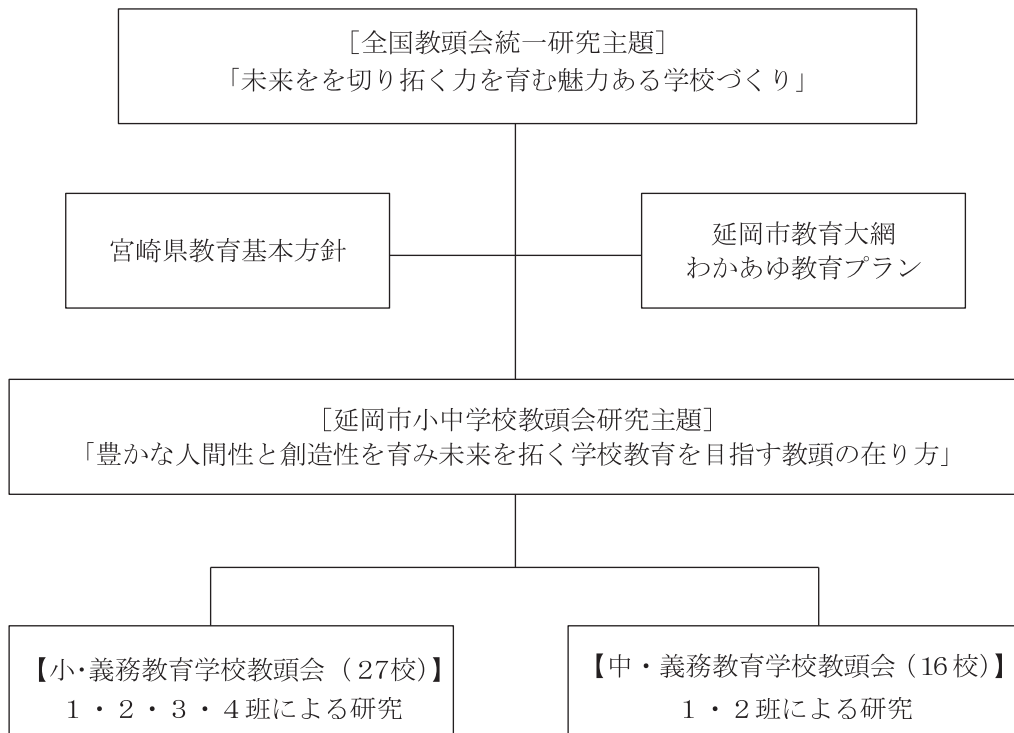
役 職	氏 名	学 校 名
会 長	石 田 俊 司	恒 富 中 学 校
副 会 長	神 井 英 樹	南 方 小 学 校
副 会 長	河 野 靖 司	東 海 中 学 校
総 務	深 田 陽 一 郎	延 岡 小 学 校
会 計	岡 田 裕 次	岡 富 小 学 校
研 究 部 長	村 田 拓 也	旭 小 学 校
法 制 調 査 部 長	金 澤 由 起 子	北 方 学 園 中 学 校
広 報 部 長	上 米 良 剛	東 小 学 校

### 3 研究の概要

#### (1)研究主題

「豊かな人間性と創造性を育み未来を拓く学校教育を目指す教頭の在り方」

#### (2)研究の構想



#### 4 研究課題（令和6年度以降）

##### (1) 小・義務教育学校

班	分科会	研究課題	発表
1班	第 2	子どもの発達に関する課題	九州大会提言（R 6）
2班	第1 A	教育課程に関する課題	県大会紙上発表（R 6）
3班	第 2	子どもの発達に関する課題	県大会紙上発表（R 8）
4班	第 3	教育環境整備に関する課題	県大会提言（R 8）

##### (2) 中学校

班	分科会	研究課題	発表
1班	第 4 第 4	組織・運営に関する課題 組織・運営に関する課題	県大会紙上発表（R 6） HP掲載（R 7）
2班	第5 B 第5 A	教職員の専門性に関する課題 教職員の専門性に関する課題	県大会紙上発表（R 6） HP掲載（R 7）

#### 5 主な事業予定（令和6年度）

月	研修内容等
5	○小・中合同研修会（延岡市教育長講話・役員組織編成） ○小・中別研修会（研究内容等確認）
6	○第1回小学校研修会（全体研修・班別研修） ○第1回中学校研修会（全体研修・班別研修）
7	○第2回小学校研修会（全体研修・班別研修） ○第2回中学校研修会（全体研修・班別研修） ○法制部主催小中教頭会夏季特別研修（延岡市教委学校教育課長講話）
8	○全国公立学校教頭会研究大会 ○九州地区公立学校教頭会研究大会
9	○第3回小学校教頭会（全体研修・班別研修） ○第3回中学校研修会（全体研修・班別研修）
10	○第4回小学校教頭会（全体研修・班別研修） ○第4回中学校研修会（全体研修・班別研修）
11	○第5回小学校教頭会（全体研修・班別研修） ○第5回中学校研修会（全体研修・班別研修）
12	
1	○第6回小学校教頭会（全体研修・班別研修） ○第6回中学校研修会（全体研修・班別研修）
2	○第2回小・中合同研修会（課題研究のまとめ、情報交換等）

# 支会だより

## 西臼杵支会

### 1 構成

本支会は、高千穂町（小学校5校、中学校2校）、日之影町（小学校3校、中学校1校）、五ヶ瀬町（小学校4校、中学校1校）の教頭で構成されている。

### 2 支会役員

役 職	氏 名	学 校 名
会 長	樋 口 幸 浩	日之影町立高巣野小学校
副 会 長	赤 池 英 人	高千穂町立高千穂中学校
副 会 長	坂 本 香 奈 子	五ヶ瀬町立三ヶ所小学校
総 務	黒 田 芳 伸	日之影町立日之影中学校
会 計	宮 本 朝 美	日之影町立宮水小学校
研 究 部 長	黒 木 麻 矢	五ヶ瀬町立上組小学校
法 制 調 査 部 長	森 本 健 一	日之影町立日之影小学校
広 報 部 長	海老原 学	高千穂町立押方小学校

### 3 研究の内容

#### (1) 研究の目標

- ① 各町の教育理念に基づく学校教育の実現  
「ふるさと教育」をはじめ、小規模校ならではの特色ある教育の実現を目指す。
- ② 教頭としての力量の向上  
幅広い視野に立って、学校運営が行われるように、学校教育に関する見識を高める。

#### (2) 研究の方針

- ① 学校教育の課題の究明
- ② 教頭としての資質向上
- ③ 各町の組織的・継続的な研究と研究成果の活用
- ④ 県教頭会に関する課題内容の研究

#### (3) 研究の方向

- ① 各学校におけるコミュニティー・スクール（学校運営協議会）を通じて明らかになった課題について究明し、地域・保護者の信頼に応えられる、地域とともにある学校を目指す。
- ② 各町（各学校）における工夫した取組について情報交換を行うとともに、各学校において教頭としてどのように関わっていくべきか、協議を深めることで、資質の向上に努める。
- ③ 県教頭会の発表に向けて、諸調査結果の分析や臨時的な研究会の実施等、各町及び本支会において組織的な研究により、発表への準備を進めるとともに研究内容の共有化も行い、各学校での取組に活かすようにする。
- ④ ①～③についてまとめ、年度末に報告会を実施する。

(4) 郡教頭会総会及び研修会

第1回 研修会並びに総会	期日	令和6年5月28日(火)		
	会場	高千穂町中央公民館		
	内容	第1回研修会	講師	日之影町立高巣野小学校 校長 田崎 智章
総会		令和5年度事業・会計・監査報告、令和6年度 役員改選・事業計画案・予算案審議、情報交換等		
第2回研修会	期日	令和6年11月中旬頃		
	会場	高千穂町中央公民館		
	講師	五ヶ瀬町教育委員会 教育長 津奈木 考嗣 (予定)		

(5) 役員会及び県・九州・全国教頭会参加計画

月	日	曜	事業名	研修内容など
5	17	金	郡教頭会第1回役員会	総会・研修に向けての準備及び確認
7	5	金	県教頭会第1回研究部長会	県教頭会理事、支会各専門部会(研究部)
7	31	火	全国研究大会(高知)	日之影町1名参加
8	22	木	九州地区研究大会(宮崎)	全員参加
11	1	金	郡教頭会第2回役員会	第2回研修会に向けての準備・打合せ
11	未定		郡教頭会第2回研修会	講話(予定)及び各町研究経過報告
1月～2月			各町研究のまとめ	各町での取組まとめと次年度に向けての確認
3	11	火	郡教頭会第3回役員会	今年度の反省、次年度に向けての引継・確認

(6) 各町教頭研修会

- ① 本年度の町別の定期的な研修会については、高千穂町では年間4回、日之影町では年間7回、五ヶ瀬町では年間12回、各町において年間計画に基づいて予定している。また、教育長や指導主事に出席を依頼している。
- ② 各校において、コンプライアンス研修を夏季・冬季休業中の研修として実施している。

4 その他の研修(教頭会が中心に郡内の教職員に勧める研修)

(1) 目的

学校経営についての理論と運営の実際を研究し、学校における正常な運営能力を高めることを目的とする。

(2) 研修計画

期日	内容
令和6年6月27日(木)	講話・演習「管理職に求められるもの」 講師 日之影町立宮水小学校 富迫 裕紀子

5 その他

各校で県教育委員会の重点取組を全職員に周知する。教頭会において児童生徒の実態や各校の工夫した取組について情報交換・共通理解を図り、学校の管理・運営に活かす。教頭としてのリーダーシップを発揮し、各校の学校経営ビジョンの実現に向けて全職員で取り組めるようにする。さらに、教職員の人材育成にも力点を置き、学校の教育力向上に寄与する。

# 支会だより

## 東白杵支会

### 1 構成

本支会は、東白杵内（小学校11、中学校4、義務教育学校2）の4町村19名の教頭により構成されている。

### 2 支会役員

役職	氏名	学校名
会長	黒木俊彦	諸塚村立諸塚小学校
副会長	久野智章	椎葉村立椎葉小学校
副会長	福重雄一	門川町立門川中学校
総務	河野清香	美郷町立西郷義務教育学校
会計	上田尚司	諸塚村立荒谷小学校
研究部長	興栢晋	美郷町立美郷北義務教育学校
法制調査部長	三ヶ尻哲徳	諸塚村立諸塚中学校
広報部長	三ヶ尻哲徳	諸塚村立諸塚中学校

### 3 研究概要

#### (1) 研究主題等

##### 【研究テーマ】

学校の組織・運営に関する課題について

##### 【研究主題】

学校の特色を生かした働き方改革の在り方

#### (2) 研究の目標

- 学校の特色を生かし、職員が明るく元気に働ける学校環境をつくるための働き方改革の在り方について研究と実践を行う。
- 情報交換や研究を通して、教頭としての資質向上に努め、学校教育の充実と発展に寄与する。

#### (3) 研究内容

- 学校の組織・運営に関する課題解決をめざす研究と実践
- 学校運営上の諸問題に関わる情報交換および協議



#### 4 令和6年度事業計画

期日（曜日）	内 容
6月 4日（火）	東臼杵支会 第1回理事会（オンライン）
7月～8月	東臼杵支会各地区夏季研修会
7月31日（木）～ 8月 1日（金）	全国公立学校教頭会研究大会（高知大会） 3名参加（うち2名オンライン参加）
8月22日（木）～ 8月23日（金）	九州地区公立学校教頭会研究大会（宮崎大会） 発表者：美郷町立美郷北義務教育学校 教頭 興梶 晋
2月 7日（金）	全国教頭会中央研修大会 1名オンライン参加
3月12日（火）	東臼杵支会 第2回理事会（オンライン）

# 支会だより

## 日向支会

### 1 構成

日向支会は、日向市内小中学校合わせて20校（富高小、日知屋小、財光寺小、細島小、塩見小、美々津小、大王谷学園初等部・中等部、日知屋東小、財光寺南小、東郷学園小学部・中学部、坪谷小、寺迫小、富島中、平岩小中学校、美々津中、日向中、財光寺中、東郷学園若竹分校）の教頭により構成されている。

### 2 支会役員

役 職	氏 名	学 校 名
会 長	黒 田 哲 郎	大 王 谷 学 園 中 等 部
副 会 長（ 研 修 ）	大 鶴 宗 仁	細 島 小 学 校
副 会 長（ 法 制 ）	野 邊 千 秋	財 光 寺 南 小 学 校
副 会 長（ 総 務 ）	八 木 彩 香	日 向 中 学 校
会 計（ 県 ）	黒 木 英 子	大 王 谷 学 園 初 等 部
会 計（ 市 ）	椎 葉 貴 大	東 郷 学 園 中 学 部
研 究 部 長	蛭 川 隆 文	平 岩 小 中 学 校（ 中 ）
広 報 部 長	橋 本 憲 二	美 々 津 小 学 校
教 研 連（ 小 ）	川 崎 利 康	富 高 小 学 校
教 研 連（ 市 ）	植 野 晃	富 島 中 学 校

### 3 本会の目的

本市は、「ひょうが学びの学校」の実現を目指して、支柱としての「キャリア教育」、養分としての「小中一貫教育」、土台としての「コミュニティ・スクール」の3つを合わせて『三位一体の教育』に全学校が共通理解の基にして取り組んでいる。これらの教育のねらいは、①ふるさと日向を愛する心、②ゆたかな人間性、③国際感覚とコミュニケーション能力の向上、④社会に貢献できる力、⑤自己肯定感と人権感覚、⑥確かな学力と学ぶ意欲を高めることに取り組み、「生きる力を備えた子ども」の育成に取り組んでいる。

特に、今年度は、中学校区における小中一貫教育（一体型、連携型、併設型）の充実を重点化し、各ブロックの実践等の情報共有を図るとともに、市教委と連携して各学校の課題解決に係る事案対応や日向市の子どもや保護者、地域との関係性などについて協議して、学校マネジメントに係る研修を深めていく。

市教委や校長会などとの縦横の連携をしながら、日向の未来を支える子どもの育成と地域のプラットフォームとしての学校の在り方について検討していく。

#### 4 市教頭会研修計画

月	事業名	内容
4月 3日	第1回教頭会研修会	会場：市役所委員会室 教育長講話、役員決定分担確認
5月30日	第2回教頭会研修会	会場：教育研究所 ・市教委からの伝達 ・全体会 ・小中別研修
6月	教科書センター	会場：日向市役所1階市民ホール ・管理当番（輪番担当校）
7月11日	第3回教頭会研修会	会場：教育研究所 ・市教委からの伝達 ・全体会 ・小中別研修
8月22日 8月23日	九州地区教頭会研修会	会場 シーガイアコンベンションセンター
9月	第4回教頭会研修会	会場：教育研究所 ・市教委からの伝達 ・全体会 ・小中別研修
12月	第5回教頭会研修会	会場：日向中 ※昨年度12/19 ・岡田校長講話 ・全体会 ・小中別研修
1月	第6回教頭会研修会	会場：未定 ・市教委からの伝達 ・全体会 ・小中別研修
3月	第7回教頭会研修会	会場：未定 ・全体会 ・小中別研修

#### 5 その他

日向市は、児童数減少が各校とも課題となる状況下において、小中一貫教育の充実を掲げ、中学校区ランドデザインの見直しや研修会の充実に取り組んでいる。

地域との協働による経営実践など学校と地域の関係がWin-Winで共に発展する地域づくり、まちづくりにつながっていくための学校の在り方を考えていかなければならないと思う。

(文責：橋本)



美々津中ブロック研修会の様子

# 各支会新任副校長・教頭 随想

## 「チーム」

宮崎市立大宮小学校 櫛 間 亨

133。赴任して最初に確認した本校の創立年数である。ずしっと重みのある年数と共に桐をデザインとする校章が玄関で出迎えてくれた。中学校の勤務経験しかない新任教頭が66名の職員のひとりとして赴任のあいさつをしたとき、業務に挑む気持ちを上回る不安と緊張が今でも忘れられない。「ひとつひとつをしっかりと」を心に唱えながら教頭業務に当たるものの、学校全体に行き渡らない自分の不甲斐無さに打ちのめされながら今日に至る。しかし、それでも学校は毎日回っている。同時に、自分の行き届いていない業務や対応は、いつの間にか誰かの動きによって為されていることに気付き、感謝の念が沸き上がった。さらに「こうあればいいなあ」と思っていると、自分ではない誰かが、そっとその対応に当たり、事が成っていることにも気付いた。チームの力である。一人の力は微力でも、目標に向かって66名の職員、876名の子どもたちとその保護者の方々、そして133年を継承してきた地域が「想いをひとつに」動くことで、子どもたちの「夢実現」に向けた大きな力となることを実感した。まだまだ勉強不足である現在の自分が、歴史ある大宮に貢献し、チーム大宮を教頭として支えようと新たな決意を抱いた瞬間である。

チーム大宮で、子どもたちの夢実現！

## 「教頭として」

宮崎市立古城小学校 山 口 耕

新任教頭として古城小学校に赴任して三か月が過ぎようとしています。慣れない仕事に、何とか締め切りに遅れないように気持ちを張って過ごしてきました。担任をしていたころと比べて、子ども達との距離が遠のいたなあという寂しさもありましたが、その分、先生方や事務室の職員、PTAの方々との関りが密になり、これまで見えていなかった学校の様子に分かってきたことが大きな収穫だと感じています。それと同時に、多くの方々に支えられている学校、そして皆さんに助けられている自分にも気付くことができ、より一層、学校・地域のために頑張りたいという思いをもつことができました。まだまだ学ぶべきことが多く、自分の力量不足に悶々とする日々ですが、自分にできることを全力で取り組み続けて、これまでに私が周りの方々からいただいたやさしさを返すことのできる教頭を目指して、日々の業務に取り組んでいきたいです。

チャレンジ・協働 古城小学校

## 「ゼロからのスタート」

宮崎市立江平小学校 江 藤 千 恵

教頭職に就いて3か月が過ぎ、日々の学びを書き留めたノートは2冊目に入った。次から次へと押し寄せる不慣れた業務に戸惑いながら、教わったことを忘れてはいけないと、必死にノートにメモをした。

ノートの最後のページを終えた日、気付いたことは、これまでに見えていなかったことの多さと、学校という組織が、様々な人々によって支えられているということである。そして、自分もまた、これまでに出会った管理職の先生方に常に守られ、支えられてきたのだということである。

私の強みは元来の明るさと学ぶ意欲である。児童が楽しく学び成長していける学校、保護者が安心して子どもを送り出せる学校、職員がそれぞれの力を発揮しチームとなって仕事ができる学校、地域の方に応援してもらえる学校、そんな学校を創るために、校長や隣にいるもう一人の教頭のご指導を仰ぎながら、心を配り、次は自分が誰かの支えになれるよう学び続けていきたいと思う。

街の中心にある、児童数858人の地域やPTAのバックアップが素晴らしい学校です。

## 「初心にかえって」

宮崎市立住吉小学校 山元朋彦

縁あって、昨年度まで教務主任を務めた住吉小学校で、今年度は教頭として働くことになりました。職員室の机は1つ横に移動しただけで、見える風景はほとんど同じです。しかし、やるべき事務処理の数が全然違う、お客さんや電話への対応の数が全然違う、先生方からの相談内容がこれまでと全然違う・・・、様々な違いに戸惑う日々を過ごしています。

これまでも忙しさに追われ、たくさんの失敗をしてきました。そんな時は、初任校の校長先生からいただいた「目の前のいろいろな事象に惑わされるな、本質を見極めなさい。」という言葉に立ち戻るように心掛けています。

児童にとって、保護者にとって、先生方にとって、今、1番大事なことは何なのか、そう考えながら、対応できるような教頭を目指していきたいと思います。

「三方（子ども、保護者、職員）よしの住吉小学校」

## 「右往左往から試行錯誤へ」

宮崎市立宮崎北中学校 井口厚志

この2カ月間を振り返ると、まさしく「右往左往」の状態であった。先生方からの「教頭先生、教頭先生」の声、文書作成、電話や来客対応などに想像以上の忙しさであった。その忙殺の日々の中でミスや失敗を繰り返し、周りの方々に迷惑や不愉快な思いをさせてしまった。意気消沈して、悩んでいた時、先輩教頭から「最初は自分もそうだった、教頭が忙しく動き回することは自己満足、学校の教育目標に向けて、組織マネジメントと人材育成に粘り強く尽力することが大事」とのアドバイス受け、目から鱗が落ちた。

そこで今後は、学校教育目標達成に向けて、「試行錯誤」しながら「職員と前向きにコミュニケーションを重ねること」、「机を離れて積極的に校内を見回ること」を実践しようと決意した。成果を楽しみに、現在の教育活動を生徒の将来へ繋げる橋渡しになれるよう修養を重ねていく所存である。

【幸動】 自他の幸福のために行動する生徒  
【感動】 温かい人間関係のもと、生き生きと活動でできる学校

## 「佐土原中学校との出会いに感謝」

宮崎市立佐土原中学校 内之倉千穂

4月1日、教頭としての初出勤は校内の色とりどりの花に迎えられました。さわやかな気持ちになったのも一瞬のことで、すぐに緊張と不安で混乱。次々に積み重なっていく文書や目の前で起きる様々な事案に必死に対応する毎日。4月、5月はPTA総会や体育大会等行事が多く、保護者との連携の大切さや有難さ、先生方の子どもへの愛情深い関わりに感謝しながらの日々で、気付けばはや二ヶ月が過ぎました。最近では気持ちに少し余裕ができ、早朝の澄んだ空気と鳥のさえずりを感じながら門扉を開け、職員室で先生方と会話をし、登校時間になると生徒玄関に向かいます。生徒と「おはよう」の後にちょっとした出来事を会話することが日課になりました。今は何が起きるかワクワクの日々です。日々あたたかく見守ってくださる校長先生をはじめ、先生方、生徒、保護者、地域の方々との出会いに感謝し、教頭としての日々を自分らしく大切に過ごそうと考えています。

認め合い 支え合い 高め合い のある学校 佐土原中学校

## 「笑顔を届けよう2.0」

国富町立森永小学校 開 地 和 代

本校のキャッチフレーズは「笑顔を届けよう2.0」（昨年度よりバージョンアップを目指しての2.0）、学校経営ビジョンにも笑顔という言葉が並ぶ。本校を初めて訪れた時、職員室は笑い声で溢れ、なんとも楽しい雰囲気だった。それは今も変わらずである。子ども達も屈託のない笑顔で、先生方を見つけると「せんせ〜い♪」と駆け寄る。もちろん、いろいろな子どももいるが、みんな笑顔で登校し、笑顔で下校している。

朝一番、車を降りると、静寂の中、運動場の草木から新鮮な空気を感じ、鳥の鳴きを耳にする。自然豊かで、おだやかな時間が流れているのも、たくさんの笑顔が生まれるにことにつながっているのかもしれない。この素敵な学校、素敵な環境の中で、私自身も笑顔を決やさずがんばっていきたい。

笑顔で登校、笑顔で下校、教職員がやりがいを実感し、保護者・地域に信頼される森永小学校

## 「Team 東郷 —新任教頭として—」

日南市立東郷小学校（東郷小中学校） 秋 岡 裕 子

「教頭先生、手伝いますよ。」薄紅の夕方、ある職員が息をきらし私に駆け寄ってきた。4月中旬のPTA参観日。運動場を駐車場として利用した。その片付けで駐車コーンを運んでいた時のことだった。この時期だけに、こそっと一人で片付け作業をしていた。温かい予想外の行動に胸がじんと、ぎゅっと熱く締め付けられた。感謝の言葉と共に、なぜ作業に気付いたのと問うと窓越しに一人で作業されている姿を目にしたからと。ある先輩から、教頭とは、孤独で耐える仕事をする役目だからと聞き、かみしめながらの数日……。忘れることができない出来事だった。本校の職員は、One for all. All for one. の気持ちで対応されている。最高の職員に囲まれていることに感謝したい。完璧では、ない私をおおらかに支えて下さる校長先生や中学部教頭先生。Team 東郷の原動力は、そこにある！！

すぐ横に東九州自動車道。学校に大宮神社が隣接。  
巨大樹の「くすのき」は必見の価値あり！

## 「あるがまま」

西都銀上学園西都市立銀上小学 中 山 哲 也

十数年前、私はある研修の宮崎県代表一団の一員として高知県にいた。研修中、常にこの学びを県下に下ろさなければならないという重責と闘いながらの日々。そんな時、「“あるがまま”でいこう。自分らしさを忘れずに！」という仲間たちの声。私の教育観、いや人生観を支える大切な言葉。4月から西都銀上学園銀上小学の教頭として赴任し、新たな教職人生のスタートを切った。本校は、東米良地区に唯一残る小中一貫校であり、色彩豊かな山々や清流、澄んだ空に満天の星、ゆずや神楽等、豊かな自然と伝統が息づく静かかつ美しい郷で、地域住民に愛され支えられながら、全校児童生徒19名が健やかにのびのびと学校生活を過ごしている。約8割が山村留学生であり、悩みを抱えたり生きづらさを感じたりしている児童生徒がいる。子どもたちと接しながら、なぜ自分がこの学校に必要とされているのかを考えさせられる毎日である。“あるがままに自分らしさを忘れず、堂々と生きていこう！”とエールを送りながら、子どもたちと共に歩み続けていきたい。

キミが主役になれる学びと生活の場！ 山村留学生・家族留学生募集中！

## 「人材育成」

新富町立新田小学校 鬼塚 淳

前任校の富田小を去る時、卒業した中学生から手紙をもらった。この生徒が6年生の時に理科を指導したのだが、4月当初は意欲も低く、ただその時間に存在している児童であった。それから学習意欲を高める教具の工夫やこまめな発問により、卒業時には他の児童と遜色ない学力を身に付けさせることができた。本年度も報道で教職員採用試験倍率の低下を伝えていた。教員のなり手が年々減少し、学校現場も学級担任不足の状況もみられる。自分も初任者や教育実習生の指導を行い、人材育成の難しさを痛感している。本年度から教頭となり、育成する幅も広がり、全職員が対象となった。授業参観や日々の学級経営の様子を観察し、適時支援・アドバイスを進めているが、果たして先生方の力となっているのか……。今後も気を引き締め、魅力ある仕事と先生方が感じられるよう努力していきたい。冒頭の生徒の手紙には、「今まで将来の夢はなかったけれど、先生に会えて将来の夢ができました。先生になります」と締めくくってあった。人材育成は今一歩だが、県の教員確保には貢献できたようである。

### 「チーム新田」で、可能性への挑戦

## 「時間と心にゆとりを」

都城市立夏尾小学校 橋谷 敏治

「どうか、時間と心にゆとりを持たれて、……」4月、長女の中学校入学式に、保護者代表挨拶で先生方に向けて送った言葉である。私自身はどうだっただろうか。

外部折衝力、管理運営力、人材育成力、準公金管理……。これまであまり意識してこなかった様々な力が求められる職。何ができるのかと、自問自答する毎日。その日その日が精一杯。とても「ゆとり」は持てなかった。目線を上げることを意識すると、次第に、1週間、1か月と先を見通せるようになり、子どもたちや先生方、保護者、地域の方々の顔をしっかりとみて、会話ができるようになってきた。少しは心にゆとりが持てるようになってきたと思う。次は時間にもゆとりがもてるよう、教頭としての立場からの働き方改革を進めていきたい。時間と心にゆとりをもつことで、夏尾の子の健やかな育ちを先生方、保護者、地域の方と一緒に支えていきたい。

### 「豊かな環境」と「少人数」を活かした魅力ある学校

## 「新任教頭として」

都城市立明和小学校 弓削 光孝

異動内示で「明和小学校 教頭職」を告げられた時、教務主任、主幹教諭として隣で見ていた教頭先生の動きを果たして自分がやっていけるのかと不安になりました。

数多くの提出文書、学校規模等によって違う教頭の役割等、戸惑いと教頭としての責任感を感じながら3ヶ月を過ごすことができました。この3ヶ月を乗り切れたのは、これまで御指導いただいた管理職の先生方の御助言といつも温かい言葉と丁寧な説明をしてくださる校長先生、忙しい中、協力していただいた先生方のおかげだと思っています。

これからも児童の自立のため、日々努力されている先生方のために自分ができることを確実にしながら職務を全うしていきたいと思います。

あいさつは (め)をみて (い)い顔で (わ)たしから

## 「溢れる愛に気付く」

都城市立有水小学校 比江嶋 哲

4月から教頭になり驚いたのは、学校の見方が全く違う景色になったことだ。「学校全体を考えて動く。」言葉では分かるのだが、実践していくのは難しい。早速、始業式後に地震があり、いきなりの試練だった。ありがたかったのは、まだ教頭になって数日の私の指示に一条乱れず動いてくれたこと。ありがたい限りだった。それから、鳥が入ったなどの対応や質問、相談を積極的に受けた。これまでは、子ども中心に愛情を注ごうとしていたが、職員への見方も変わってきた。体調大丈夫かな、仕事無理してないかなと考え始めた。ただ、私自身の仕事も本当に多い。山のような文書、言葉の分からない調査、仕事が全く見えず、深いプールに一気に沈められた感覚だった。そんな中、水面からたくさんの手が私を、引っ張ってくれる。校長先生、そして同僚の先生方、PTAの方々、そして子供たち。こんなに学校は愛が溢れていたのか。教頭になって気付いた一番の宝だろう。

元気いっぱい、思いやりいっぱい、やる気いっぱいの有水っ子！

## 「気配り・目配り・心配り・情報活用の大切さ」

都城市立西中学校 衛 藤 卓 哉

末娘が卒業したばかりの西中に、新任教頭として赴任しました。通勤時間が1分と校区の真ん中に住んでおり、改めて身が引き締まりました。業務では、教頭は地域を掌握し、現場の情報を集約し、具体的指示を出す立場であると痛感しました。地域、生徒、職員、保護者とのつながりを大切にしなければ成立しません。様々な力を融合して校長を補佐し、職員と生徒が意欲的に活動できる環境をつくるのが最大の仕事です。悪戦苦闘ですが、「気配り、目配り、心配り、情報活用」をキーワードに奮闘中です。①相手の立場で、次を予測し行動、②注意を払い、違和感を察知、③相手を思いやり、最良の配慮を心がけています。また、校長の経営判断のために、根拠となる情報を簡潔、明瞭に示す努力をしています。4月は全く余裕なしでしたが、5月以降は、④職員とコミュニケーションを大切に、校舎内外を巡視し、地域会合に出席し、自分から情報を取りに行く姿勢が身についてきました。これらの4つを柱として、職員と一緒に奮闘する教頭（共闘）になりたいと思い、日々、勤務しているところです。

西中は今年度の生徒数が592人で、都城市で最も多くなりました。横市インター近辺も整備され、生徒はもちろん、地域全体も元気があります。自主的・主体的な行動ができる生徒の育成を目指し、西中ブランド・西中プライドを合い言葉に、生徒を鼓舞しながら、職員でチームとなって教育活動を実践しています。

## 「出会いに感謝」

都城市立山田中学校 高岡 伸吾

4年前まで6年間赴任していた山田中に、今度は教頭として再度赴任してきました。初めは「教頭先生」と呼ばれても自分のこととは分からず、二度呼ばれたこともありましたが、また、慣れない仕事にも追われ、4月の慌ただしい学校生活をいろいろと迷いながら送っていましたが、PTA関係者や地域の方々と活動を行う度に、「お帰りなさい」という温かい声をかけてくれました。自分のことを覚えてくれていたことにととても嬉しく思い、この学校や地域のために頑張らなくてはという気持ちになりました。さらに山田中のために支援や応援をしてくださる地域の方々の中に教え子たちが活動しており、「先生、変わってないね」「戻ってきましたね」「また、よろしくです」とか、話しができたことがとても嬉しかったです。

学校や校舎から見える霧島山の美しい景色は変わっていませんが、席から見える職員室や生徒の様子は全く違ったものでした。これが立場の違いかと寂しさを感じながらも、校長先生をはじめ、温かく見守ってくださる先生方や地域の皆様、そして素直な生徒たちとの出会いのおかげで、楽しく業務に取り組んでいます。皆さんとの出会いにとっても感謝しています。

Confidence わくわく、イキイキ、輝く山田中



## 「教頭となって」

小林市立永久津小学校 押方道伸

今年度の4月に教頭として永久津小に赴任し、初日から怒涛のようにお仕事をいただいております。本原稿執筆までに、抱いた日々の思いを記させていただきます。

まずは次々とやってくる提出期限や慣れない教頭業務に戸惑う毎日でした。やることリストが息もつかせぬスピードで増えていき、優先順不明の日々が…。ここ最近、まだまだ不慣れを脱しませんが、ようやくペースに慣れてきたかなと感じています。

ただ実を言うと慌ただしい日々の中にも、SAMURAI JAPAN 栗山英樹監督著「栗山ノート」（光文社）及び横山光輝先生著「三国志」（潮出版社）を読みながら、“やりがい”“戦略”を見出す日々も結構お気に入り、仕事のきつさを上回っています。

今年1年で教頭の仕事に完全マスターするのは難しいとは思いますが、仕事を楽しむことを心がけながら、心身両面において教頭職スキルを高めていきたいです。

さて永久津小学校は今年度150周年を迎えます。11月24日(日)に記念式典を行いますので、以前赴任していた先生方、また本校に縁のある先生方、ぜひいらしてください。

## 「井の中の蛙大海を知らず」

小林市立野尻中学校 中嶋康尋

「昇任おめでとう！野尻中学校に赴任です。」校長先生から知らされたとき、思わず心の中でガッツポーズ。以前、赴任していた内山中学校（H22廃校）に近く交流授業で何度かお世話になった学校、自宅から車で50分！引越もゆっくりできる！そんな余裕にひたりながら引継ぎへ…。しかしそこで暗雲が立ち込めます。「うち、市PTA協議会の事務局なんです。5月の総会までちょっと大変です…」と説明を受け、私の頭は？がいっぱい。教頭職は対外的な仕事が多いと聞いてましたが、そんな役割もあるとは…。余裕は一瞬でなくなり、地獄の日々へ。矢継ぎ早に出される提案文書、締め切り迫る提出文書、そして市PTA総会の準備…。膨大な業務に押しつぶされそうでしたが、諸先輩方に助けられ無事に乗り切ることができました。自分の浅はかさを痛感した4月、これからは謙虚で誠実な姿勢を大切にしていこうと思います。

野尻中スローガン：JJKK（自立と自立、感謝と貢献）

## 「憧れられる管理職になるために」

延岡市立黒岩小中学校 佐々木 博人

「運は愛想と誠実さによって架けられた『信用』という名の橋を渡ってやってくる」

今この場所で仕事ができていることを非常に幸運に思っている。全ては沢山の方々との出会いのおかげである。今まで各立場から、管理職の先生方の「発言・行動」が、各教職員のやる気を奮い立たせ、時に様々な難しい局面を打開していく場面を多く見てきた。経験年数が増えるにつれ、身近でその場面に邂逅し、憧れを抱き、後に続きたいと思った。

尊敬する諸先輩方、一流の各界著名人が決まって口にするのが、「私は運がよい、人に恵まれてきた」という言葉である。明るく、誰に対しても丁寧であり、誠実である彼らの基に、運が吸い寄せられているのではないだろうか。教頭職に臨むにあたって、問題は山積、激務ではあるが、その中で仕事を軽やかにこなすような見栄を張りたい。そしてそれをいつか実力につなげていきたい。

祝子の風にのせて皆様に「幸動」を届けます。延岡市立黒岩小中学校

## 「南方中サポーター」

延岡市立南方中学校 山本 延久

校区は、行徳山を背景にした純農村地帯で稲作が盛んです。5月下旬頃(田植えがスタートする時期)に、各地区の区長さんに学校だよりを届けようと校区全体を散策。以前の学校の様子、登校状況、分校があったことや地域に伝わる神楽などたくさんのお話を聞くことができました。この1年間は、たくさんのお会いや経験から、南方中学校のサポーターとなれるよう4つの【語る】をテーマに取り組みたいと思っています。【学区を語る】①学校の周りから、範囲を拡大②自分の足で、通学路や境界線③地域の一員、地域の人と対話【歴史を語る】①学校略歴を把握、外来者に説明②過去の事例から判断材料を探す③地域年長者や役職者などの知己【職員と語る】①チンゲンサイよりハウレンソウ②報告義務ではなく、雑談中③傾聴することを意識し、安心感【将来を語る】①組織の舵取り、未来予想図作成②スケジュール感、課題感をもつ③文化を受継ぎ、魅力ある学校へ！

「一人一人を幸せにする学校づくり」 令和6年度のキーワード『10年目の挑戦』

## 「新たな始まりの名刺」

日向市立塩見小学校 宮下 裕一

新任教頭としての2日目だったと思う。校長室に呼ばれ、椅子に腰掛けると、目の前に小さい箱が出された。「開けてみて」と促され、おもむろにふたを開けてみると、そこには、私の名前が書かれた名刺が収められていた。私のために、特別に用意してくださった校長の心遣いに恐縮するとともに、名刺を使用する立場になったのだなぁと身が引き締まる思いもした。

思い返せば、教頭に合格した際、たくさんのお祝いの言葉やお花等を頂いた。私自身が思っていたより、教頭になるというのは大きなことなんだなぁと思った。

校長は学校経営方針として「笑顔・自立・貢献」を掲げている。やっぱり笑顔が一番だなぁと思う。そして、教科書の学びも大事だけど、運動会や児童会活動等を通して、子どもたちが教科書で学べない多くのことも学んで成長してほしいと思う。そのためにも、精一杯力を尽くす決意である。

蛍の飛び交う塩見小学校

## 「感謝の日々」

日向市立財光寺中学校 清山 茂樹

「教頭先生、これは〇〇ですか？」即答はできず、「確認します」と答える。初めて教頭として財光寺中学校に赴任し、あっという間の毎日である。3月末に引き継ぎに行き、いろいろと説明をしていたが、4月に入ると怒濤のような日々でそれらを思い出し、見直すこともままならない。目の前には、パソコンが2台並び、それをどのように使えばよいかも事務室に確認する日々。山のような文書が一日、2、3回、目の前に並び、よく読み、理解し、先生方に振り分ける。教諭時代はそのような光景を見ていたはずだが、いざ自分が教頭という立場になると、あたふたしている。しかし、不思議なことに、この雰囲気心地よい。先生方や多くの人に支えられ、感謝の日々である。そのような財光寺中に少しでも貢献し、若い職員が教師の魅力を感じ、「教頭になってみようかな」と思えるような笑顔が絶えない職員室を創っていきたいと思う。

それぞれの個性を尊重する、生徒同士のつながりが深い、一人一人が輝ける場を創り出す財光寺中

## 「荒谷小学校に赴任して」

諸塚村立荒谷小学校 上 田 尚 司

荒谷小学校は、諸塚村に入ってすぐの山の上に存在する全校生徒9名の小規模校です。山の上であり、学校からの景色に日々感動しております。職員も少なく、教頭職の他に特別支援コーディネーターから生徒指導状況報告の作成まで多岐にわたります。用務員の方もいらっしゃらないため、除草剤をまいたり、草刈り機で草を刈ったりする業務もあります。特に困惑しているのが、3年生の国語の授業を担当していることです。もともと中学校の数学を教えていた私は、小学校の先生方のような丁寧な授業がなかなかむずかしく、日々指導書と格闘しております。そんな日々を癒してくれるのはやはり可愛い9名の小学生です。彼らにしたら昼休み一緒に遊んでくれることが良い教頭先生の条件らしく、毎日グラウンドや体育館で遊ぶようにしています。まだ2ヶ月ですが地域の方々との交流も盛んで、温かく迎え入れていただきました。今後も児童のため、地域のために尽力していきたいと思えます。

ふるさとに誇りをもち、自ら学び、豊かな人間性をもった、たくましい子どもの育成を目指して

## 「初心を忘れず」

諸塚村立諸塚中学校 三ヶ尻 哲 徳

耳川沿いを走る国道327号。7年ぶりにこの道を通って赴任先である諸塚村へと向かう日、懐かしさと緊張感が入り交じっていた。そんな気持ちの中で諸塚中学校に赴任して早くも2ヶ月が過ぎた。この間、自分の業務に慣れることに精一杯で生徒や職員に目を向ける余裕がほとんどなかった。余裕が出てきたのは5月も終わりに近づいたところで、ようやく落ち着いて周りを見ることができるようになった。

本校は、生徒数26名の小規模校で、近隣に高等学校がないため卒業後は全員が進学のために村を離れる。それを表して諸塚村には「15の春」という言葉がある。そのため、他地域の生徒よりも一層自立に向けた働きかけが必要となってくる。生徒たちが「15の春」を笑顔で迎えることができるよう、赴任初日の緊張感を忘れずに職員と対話しながら教育活動を展開していきたい。

自分に誇りと自信をもった生徒の育成をめざして

## 「強みを生かせるように」

高千穂町立押方小学校 海老原 学

校区内に雲海の名所として有名な国見ヶ丘がある押方小学校。本校には、たくさんの強みがある。31名の子どもたちは、みんな明るく素直で学年の枠を越えて仲がよい。自ら元気なあいさつをしたり、進んで発表したりできる。他にもしっかり話を聞いたり、朝のボランティア活動に意欲的に取り組んだり強みが多い。職員もみんな前向きでチームワークがよく、子どもたちのため、地域のために、真摯に職務に専念している。保護者や地域の方々も学校に大変協力的で、行事等への参加率も極めて高い。各地区の神社で奉納される長刀など伝統行事も子どもたちが受け継いでいる。

ところで、自分の強みは何だろうと考える。教頭としては未熟であるが、1つ1つの仕事を責任感もって取り組んで資質向上を図り、教頭としての強みを見つけて伸ばしていきたい。また、教諭時代から意識して取り組んできた特別支援教育の視点を学校経営に生かせる教頭になりたいと思う。

祝！創立150周年 「やさしさ」「かしこさ」「たくましさ」を伸ばす「チーム押方」

## 「初心にもどって」

高千穂町立岩戸小学校 與田貴志

天孫降臨の地として有名な高千穂町に私が赴任した岩戸小学校はあります。目の前には天岩戸神社があり、毎日多くの観光客で賑わっています。岩戸小学校は全校児童76名の小規模校ですが、児童は朝の元気な玄関前の挨拶から始まり、何事にも一生懸命取り組んでいます。また、その挨拶の中に「教頭先生、毎日掃除をありがとうございます。」や「教頭先生、今日も元気にがんばります。」などの言葉を添えてくれる児童がたくさんいます。この言葉を聞くととても清々しい気持ちになり、「今日も1日頑張ろう」という力をもらいます。このような児童に囲まれながら、初めての小学校での勤務も3ヶ月が経過し、少しずつ慣れてはきましたが、まだまだ教頭としての職務は果たせていないというのが正直な感想です。校長先生をはじめとした素晴らしい先生方、協力的な保護者、素直な児童に助けられながら少しでも岩戸小学校の発展のために力を尽くしていきたいと思います。

創立150周年を迎える岩戸小学校を地域とともに盛り上げよう！！

## 「地域があって、子どもがいて、学校がある」

五ヶ瀬町立五ヶ瀬中学校 吉田和弘

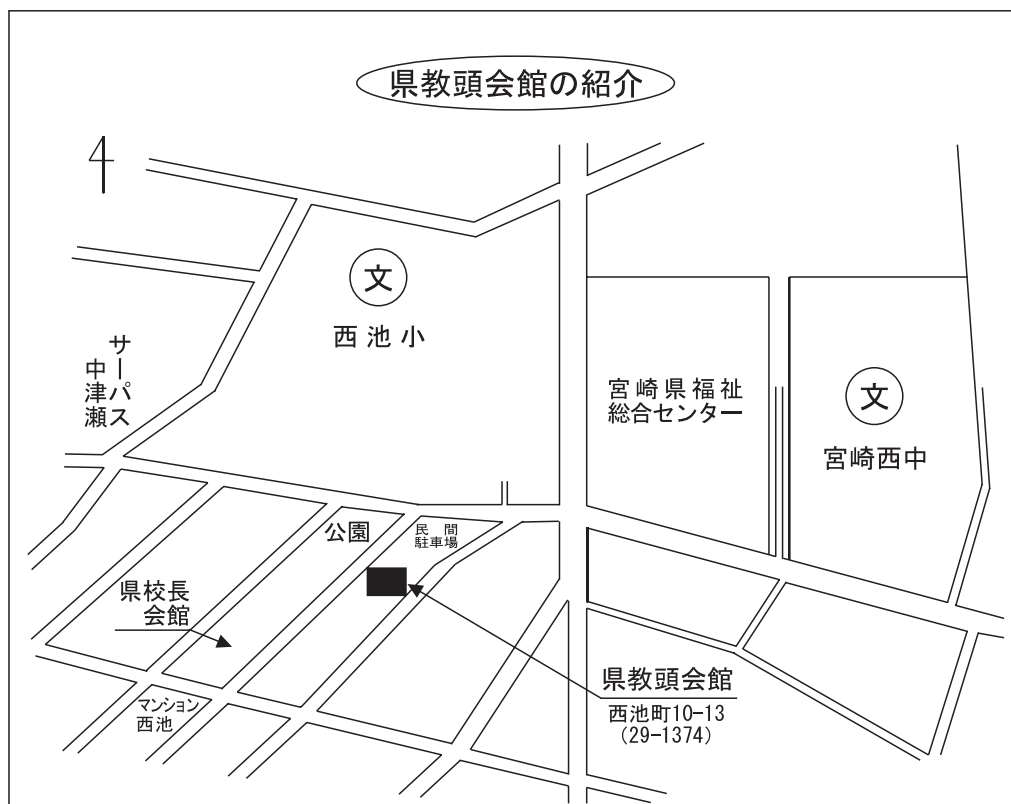
五ヶ瀬のシンボル、しだれ桜は3月末に至る所で満開となった。4月にシャクナゲの真っ白な花が道々を彩り、5月は大きなアケボノツツジが真っ赤な花に包まれた。生徒たちが徒歩で通う学校下の路地と、校門まで続く細長い坂道（もみじ坂）の木々は、その時々鮮やかな花をつけ、黄緑の葉から柔らかい木漏れ日を私達に届けてくれる。紅葉の季節が本当に待ち遠しい。

4月4日に五ヶ瀬町の教育関係者が一堂に会し、五ヶ瀬町教育グランドビジョン全体会が行われた。そこで地域の方から「先生方は『風の人』、私たちは『土の人』です。いい風を入れてもらって、力を合わせて五ヶ瀬の風土をつくっていきましょう。」と、温かい歓迎の言葉をいただいた。

毎日職員室前で、生徒全員が「先生方、おはようございます」と、一人一人丁寧に挨拶をし、帰りは「先生方、さようなら」と、元気に帰っていく。

この自然も、人の心も美しい地で、日々感謝の心を忘れず、全職員で信頼のスクラムを組み、10年後、20年後に、「あの時もいい風が吹いていた」と思ってもらえる学校をつくっていききたい。

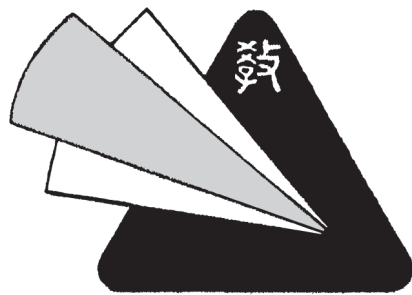
五ヶ瀬を愛し、ともに学び合い、ふれあい、高め合う子どもの育成



## 編集後記

「教頭会会報」第147号をお届けします。今年度も、異常なまでの暑さを感じる夏を迎え、日々苦勞しながら怒濤の校務に 励む日々を過ごされているのではないのでしょうか。そのようにご苦勞されている中、各支部より原稿をお寄せいただきありがとうございました。また、新任の教頭先生方には随想等のご寄稿をいただきましたことに、この場を借りてお礼申し上げます。今年度も7月に147号、11月に148号、2月に149号を発行する計画としました。県教頭会、各支部の教頭会の活動の様子等を計画的に掲載して参りますので、引き続きご協力のほどよろしく願いいたします。最後になりましたが、全会員の皆様にとって有意義な夏となりますことをご祈念いたします。

令和6年7月 宮崎県公立小中学校教頭会 広報部



MVPA